

平成 25 年度

図書館概要



徳島大学附属図書館

* 表紙の写真は、本館3階東閲覧室(上)、蔵本分館におけるBIG PADを利用した講習会(左下)、蔵本分館における文献検索講習会(右下)

目次

1.	沿革	1
2.	歴代館長・分館長	5
3.	組織機構	7
4.	蔵書・施設・設備	8
4.1.	蔵書	8
4.2.	施設・設備の概要	9
4.3.	本館	10
4.4.	蔵本分館	12
4.5.	学習環境とラーニング・コモンズの展開	14
4.6.	電子図書館サービス	16
5.	コレクション	19
5.1.	貴重資料	19
5.2.	個人文庫	21
5.3.	その他の資料	21
5.4.	郷土資料	22
5.5.	大型コレクション	22
6.	地域社会及び学外機関との連携・協力	24
6.1.	一般市民への図書館公開	24
6.2.	県内図書館との連携	24
6.3.	大学図書館の協会・協議会	25
7.	所在地・アクセス	26
7.1.	所在地と交通アクセス	26
7.2.	キャンパスマップ	27

1. 沿革

- 昭和 24. 5 国立学校設置法（法律第150号）の公布により旧制の徳島師範学校，徳島青年師範学校，徳島医科大学，徳島医学専門学校，徳島高等学校，徳島工業専門学校を包括し，学芸学部，医学部，工学部の3学部で構成する新制の国立徳島大学として発足 附属図書館は，学芸学部図書分館，医学部図書分館，工学部図書分館として発足
26. 4 国立学校設置法の一部改正（法律第84号）により薬学部設置（工学部製薬工業科から独立），工学部図書分館を併用
27. 5 附属図書館（本館）設置，学芸学部図書分館，工学部図書分館を併せて常三島分館，医学部図書分館を蔵本分館と改称
34. 4 本館事務機構を総務係から総務係，図書係に改組
37. 3 蔵本分館書庫新築完成
38. 2 蔵本分館事務室新築完成
4. 薬学部関係図書を常三島分館から蔵本分館へ移転
43. 3 常三島分館廃止（本館に包括）
44. 11 蔵本分館事務機構を事務室から受入係，運用係に改組
46. 3 常三島地区に本館新築完成
53. 3 本館書庫を4層から5層に1層増設完成
- 10 蔵本分館事務機構を受入係，運用係から受入係，整理係，運用係に改組
54. 3 蔵本分館増築完成
55. 4 本館事務機構を総務係，整理係，運用係から総務係，受入係，整理係，運用係に改組
58. 4 蔵本分館事務機構を受入係，整理係，運用係から受入係，整理係，運用係，情報調査係に改組
59. 4 情報処理センター（現，情報化推進センター）電算機システムによりオンラインによる閲覧業務開始
60. 3 本館増築完成
- 平成 2. 2 附属図書館専用電子計算機を導入
- 2 学術情報センター（現，国立情報学研究所）総合目録ネットワークに参加
3. 4 附属図書館事務部に部課制を設置，事務機構を情報管理課5係（総務，図書情報，雑誌情報，分館資料情報，分館目録情報），情報サービス課3係（情報サービス，学術情報，分館情報サービス）に改組
- 4 情報管理課に図書館専門員設置
- 4 OPAC（オンライン蔵書検索システム）運用開始
4. 2 徳島大学附属図書館学術講演会開催（以後毎年開催）
- 4 事務機構を情報管理課4係（総務，図書情報，雑誌情報，分館資料情報），情報サービス課4係（情報サービス，学術情報，分館情報サービス，分館情報調査）に改組
- 4 学術情報センターILL（図書館間相互貸借）システムによるサービス開始
- 4 土曜開館実施
5. 7 目録システム地域講習会を徳島大学附属図書館で開催
6. 2 附属図書館専用電子計算機更新
- 7 CD-ROM（MEDLINE）ネットワークサービス開始
- 9 蔵本分館（東館）増築完成
- 9 本館時間外開館時間延長
7. 9 蔵本分館試験期時間外開館時間延長
8. 3 自己点検評価報告書刊行
9. 1 本館学術雑誌閲覧室設置

- 2 UNIX 版図書館電算機システム導入
- 10. 4 「徳島大学附属図書館インターネットによる広報実施要項」を施行
- 4 附属図書館ホームページ開設
- 4 貴重書高精度画像データベース公開（伊能図・古絵図の高精細画像データベース化）
- 4 CA on CD,CI on CD ネットワークサービス開始
- 4 図書自動貸出装置導入
- 4 マルチメディア・プラザ設置（本館）
- 7 無料電子ジャーナルサービス開始
- 10 特殊資料閲覧室・展示室設備
- 11. 3 オーディオ・ビジュアル・メディア室設置
- 3 マルチメディア・コーナー設置（蔵本分館）
- 12. 3 夜間入退館管理システム導入（蔵本分館）
- 4 情報サービス課4係（情報サービス，学術情報，分館情報サービス，分館情報調査）を情報サービス課4係（情報サービス，学術情報，電子情報，分館情報サービス）に改組
- 4 所蔵資料の遡及入力事業（10年計画の1年次）開始
- 13. 4 日曜開館実施
- 6 教官と大学院生を対象に図書館利用に関するアンケートを実施
- 9 試験期23時まで開館実施
- 14. 1 コンソーシアム参加による電子ジャーナル利用開始
- 1 SciFinder Scholar の導入
- 5 学生証利用の入退館管理システム運用開始
- 11 英文版ホームページ開設
- 15. 1 自己点検・評価報告書刊行
- 7 試験期間中の祝日開館実施
- 7 日本薬学図書館協会脱会
- 16. 2 本館に投書箱を設置
- 4 国立大学法人徳島大学の設置
- 17. 2 メールマガジン 館報「すだち」創刊号発刊
- 10 Web of Science 導入
- 11 附属図書館キャラクター募集・決定（本の虫「のほほんくん」，平成20年11月まで使用）
- 18. 2 「附属図書館整備計画」策定
- 3 事務部制の廃止，学術情報係の廃止
- 4 学術研究国際部に所属，課名・係名変更
- 4 午前8時40分開館開始，本館は午後10時まで開館
分館は時間外特別利用を午前0時までとする
- 7 AED（自動体外式除細動器）を本館に設置
- 19. 4 情報部に所属，課名・係名変更なし
- 12 蜂須賀家家臣団家譜史料データベースの一般公開開始
- 20. 5 AED 設置（蔵本分館）
- 9 本館改修工事開始
- 11 徳島県大学図書館協会ホームページを開設
- 12 学生によるブックハンティング実施（以後毎年開催）
- 21. 1 蔵本分館北側玄関改修（風除室設置）
- 3 本館改修竣工
- 3 情報探索ガイドブック「情報通」作成
- 5 本館リニューアルオープン（一部開館）

- 6 自動入館システムの開始, 通常開館時間の再開 (本館)
- 6 本館リニューアルオープン記念式典, 正式開館
- 10 国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議 (当番館: 徳島大学附属図書館)
- 11 太陽光発電パネル設置竣工 (本館)
- 11 本館・分館の和装本資料の燻蒸, 本館和装本資料室及び貴重資料室の燻煙処理
- 22. 1 養護学校生の就業体験 (本館)
- 1 徳島大学機関リポジトリの試験運用開始
- 3 蔵本分館エレベータ改修工事
- 3 蔵本分館照明設備改修工事
- 3 情報探索ガイドブック「情報通」改訂
- 4 第 58 回中国四国地区大学図書館協議会総会 (当番館: 徳島大学附属図書館)
- 4 第 37 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (当番館: 徳島大学附属図書館)
- 6 附属図書館キャラクター決定「つねくら学園のなかまたち」
- 10 徳島大学機関リポジトリの正式運用開始
- 11 ライブラリー・ワークショップの立ち上げ, イベント開催
- 23. 2 支援学校生の就業体験 (本館)
- 2 図書館バッグ (視聴覚資料貸出袋) の制作 (本館)
- 3 就活本コーナーの設置 (本館)
- 3 泉山文庫 (島田麻寿吉氏旧蔵本) の目録データ入力完了
- 3 図書館利用案内ビデオ作成
- 3 古地図の電子化と複製印刷絵図を展示用に軸装
- 4 館内飲食ルール運用開始 (本館)
- 6 支援学校生の就業体験 (本館)
- 9 支援学校生の就業体験 (本館)
- 9 蔵本分館改修工事開始 (一部増築)
- 12 支援学校生の就業体験 (本館)
- 24. 1 ラーニング・commons本館 1 階にオープン
- 3 英語版・中国語版・韓国語版利用案内作成 (本館)
- 3 図書館業務用・教育用計算機コンピュータシステムの更新
- 3 蔵本分館改修工事竣工
- 3 電動集密書架設置, 入館ゲート, BDS 増設 (蔵本分館)
- 5 蔵本分館リニューアルオープン記念式典, 開館
- 8 インターンシップ学生受け入れ (本館)
- 10 午前 8 時 30 分開館開始
- 10 iPad 館内貸出サービス開始 (本館)
- 11 マイクロ資料劣化調査 (本館)
- 25. 1 1 階グループワークコーナーに大型タッチパネルディスプレイ装置 (BIGPAD) 設置 (本館)
- 1 学生協働イベント「スタディーレスキューWeeeeeK」開催
- 3 徳島市立図書館と連携協力に関する協定を締結
- 4 2 課を統合し, 図書館事務機構を学術情報図書課 4 係 (総務係, 図書情報係, 雑誌情報係, 利用支援係), 学術情報図書課蔵本分館事務室 1 係 (学術情報係) に改組
- 4 本館に課長補佐設置

- 4 蔵本分館に蔵本分館事務室長を設置
- 4 学生協働イベント「履修相談会 in 図書館」開催
- 4 学生ワーキンググループと共同で「Study Support Space」運営開始

2. 歴代館長・分館長

○附属図書館長	初代	松田	亮一 (工学)	昭 27. 5. 23～	昭 29. 5. 22
	2	市来崎	寿蔵 (薬学)	昭 29. 5. 23～	昭 31. 5. 22
	3	市来崎	寿蔵 (薬学)	昭 31. 5. 23～	昭 33. 3. 31
	4	沖野	舜二 (学芸)	昭 33. 4. 1～	昭 35. 3. 31
	5	高島	律三 (医学)	昭 35. 4. 1～	昭 37. 3. 31
	6	伊藤	努 (工学)	昭 37. 4. 1～	昭 38. 7. 17
	7	田村	昇 (薬学)	昭 38. 7. 18～	昭 40. 7. 17
	8	宮城	文雄 (教育)	昭 40. 7. 18～	昭 42. 7. 17
	9	鈴木	幸夫 (医学)	昭 42. 7. 18～	昭 44. 7. 17
	10	鈴木	幸夫 (医学)	昭 44. 7. 18～	昭 46. 7. 17
	11	丸山	隆玄 (工学)	昭 46. 7. 18～	昭 48. 7. 17
	12	丸山	隆玄 (工学)	昭 48. 7. 18～	昭 49. 4. 1
	13	吉田	長之 (医学)	昭 49. 4. 2～	昭 51. 4. 1
	14	冨本	健輔 (教養)	昭 51. 4. 2～	昭 53. 4. 1
	15	松本	淳治 (医学)	昭 53. 4. 2～	昭 55. 4. 1
	16	竹治	貞夫 (教育)	昭 55. 4. 2～	昭 57. 4. 1
	17	小林	茂 (薬学)	昭 57. 4. 2～	昭 59. 4. 1
	18	浦川	和馬 (工学)	昭 59. 4. 2～	昭 60. 4. 18
	(取)	川田	十三夫 (医学)	昭 60. 4. 18～	昭 60. 7. 31
	19	川田	十三夫 (医学)	昭 60. 8. 1～	昭 62. 7. 31
	20	須鎗	和巳 (教養)	昭 62. 8. 1～	平元. 7. 31
	21	宮本	博司 (医学)	平元. 8. 1～	平 3. 7. 31
	22	後藤	健次 (総合)	平 3. 8. 1～	平 5. 7. 31
	23	井上	秀夫 (歯学)	平 5. 8. 1～	平 7. 7. 31
	24	青山	吉隆 (工学)	平 7. 8. 1～	平 8. 3. 31
	25	河野	清 (工学)	平 8. 4. 1～	平 9. 3. 31
	26	寺田	弘 (薬学)	平 9. 4. 1～	平 11. 3. 31
	27	岩田	紀 (総合)	平 11. 4. 1～	平 13. 3. 31
	28	森田	雄介 (医学)	平 13. 4. 1～	平 15. 3. 31
	29	林	弘 (工学)	平 15. 4. 1～	平 17. 3. 31
	30	細井	和雄 (歯学)	平 17. 4. 1～	平 19. 3. 31
	31	石川	榮作 (総合)	平 19. 4. 1～	平 21. 3. 31
	32	際田	弘志 (薬学)	平 21. 4. 1～	平 23. 3. 31
	33	野地	澄晴 (工学)	平 23. 4. 1～	平 24. 3. 31
	34	青江	順一 (工学)	平 24. 4. 1～	平 25. 3. 31
	35	福井	義浩 (医学)	平 25. 4. 1～	

○常三島分館長	初代	岸本	実 (学芸)	昭 27. 5. 23～	昭 29. 5. 22
	2	安村	二郎 (工学)	昭 29. 5. 23～	昭 31. 5. 22
	3	沖野	舜二 (学芸)	昭 31. 5. 23～	昭 33. 3. 31
	4	平形	照男 (薬学)	昭 33. 4. 1～	昭 35. 3. 31
	5	久米	泰三 (工学)	昭 35. 4. 1～	昭 37. 3. 31
	6	富野	敬邦 (学芸)	昭 37. 4. 1～	昭 39. 3. 31
	7	杉野	捨三郎 (工学)	昭 39. 4. 1～	昭 41. 3. 31
	8	幸泉	芳夫 (教育)	昭 41. 4. 1～	昭 43. 3. 31

昭和43年3月31日廃止 (本館に包括)

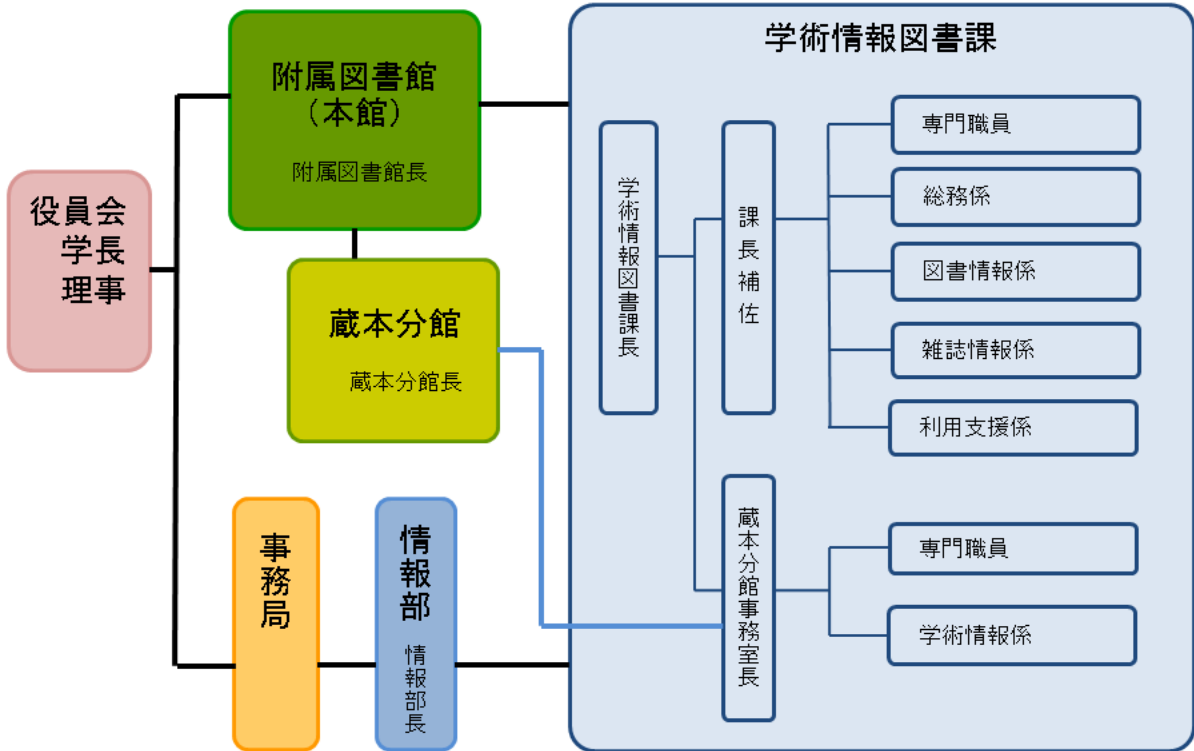
○蔵本分館長

初代	黒田 嘉一郎 (医学)	昭 27. 7. 22～	昭 29. 3. 31
2	梶本 義衛 (医学)	昭 29. 4. 1～	昭 31. 3. 31
3	吉田 長之 (医学)	昭 31. 4. 1～	昭 33. 3. 31
4	新見 嘉兵衛 (医学)	昭 33. 4. 1～	昭 35. 3. 31
5	高島 律三 (医学)	昭 35. 4. 1～	昭 37. 3. 31
6	高島 律三 (医学)	昭 37. 4. 1～	昭 39. 3. 31
7	棚瀬 弥一郎 (薬学)	昭 39. 4. 1～	昭 41. 3. 31
8	鈴木 幸夫 (医学)	昭 41. 4. 1～	昭 42. 7. 17
9	四方 一郎 (医学)	昭 42. 7. 18～	昭 45. 3. 31
10	小林 茂 (薬学)	昭 45. 4. 1～	昭 47. 3. 31
11	山田 正興 (医学)	昭 47. 4. 1～	昭 49. 3. 31
12	川田 純 (薬学)	昭 49. 4. 1～	昭 51. 3. 31
13	松本 淳治 (医学)	昭 51. 4. 1～	昭 53. 3. 31
14	亀谷 富士夫 (薬学)	昭 53. 4. 1～	昭 55. 3. 31
15	檜澤 一夫 (医学)	昭 55. 4. 1～	昭 57. 3. 31
16	高田 充 (歯学)	昭 57. 4. 1～	昭 59. 3. 31
17	川田 十三夫 (医学)	昭 59. 4. 1～	昭 60. 7. 31
18	塚谷 博昭 (薬学)	昭 60. 8. 1～	昭 63. 3. 31
19	宮本 博司 (医学)	昭 63. 4. 1～	平元 . 7. 31
20	坂東 永一 (歯学)	平元 . 8. 1～	平 3. 3. 31
(取)	宮本 博司 (医学)	平 3. 4. 1～	平 3. 7. 31
21	山下 卓哉 (薬学)	平 3. 8. 1～	平 5. 7. 31
22	森田 雄介 (医学)	平 5. 8. 1～	平 7. 7. 31
23	上村 修三郎 (歯学)	平 7. 8. 1～	平 9. 7. 31
24	石村 和敬 (医学)	平 9. 8. 1～	平 11. 7. 31
25	山内 卓 (薬学)	平 11. 8. 1～	平 13. 7. 31
26	細井 和雄 (歯学)	平 13. 8. 1～	平 15. 7. 31
27	泉 啓介 (医学)	平 15. 8. 1～	平 17. 7. 31
28	樋口 富彦 (薬学)	平 17. 8. 1～	平 19. 7. 31
29	福井 義浩 (医学)	平 19. 8. 1～	平 21. 7. 31
30	福井 義浩 (医学)	平 21. 8. 1～	平 22. 3. 31
31	吉本 勝彦 (歯学)	平 22. 4. 1～	平 24. 3. 31
32	長篠 博文 (医学)	平 24. 4. 1～	

(取)は「事務取扱」の意

3. 組織機構

平成 25 年 7 月 1 日現在



職員数

	職員	有期雇用職員		合計
		契約	パート	
本館				
部長	1			1
課長	1			1
課長補佐	1			1
専門職員	2			2
総務係	1	1	1	3
図書情報係	2		4	6
雑誌情報係	2		2	4
利用支援係	1	1	3 (6)	5 (6)
小計	11	2	10 (6)	23 (6)
蔵本分館				
室長	1			1
専門職員	1			1
学術情報係	3		6 (6)	9 (6)
小計	5		6 (6)	11 (6)
合計	16	2	16 (12)	34 (12)

() 内は時間外開館要員：外数

4. 蔵書・施設・設備

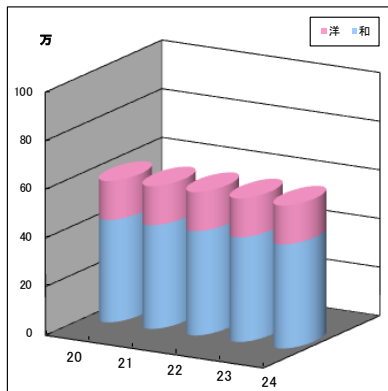
徳島大学附属図書館は常三島キャンパスの「本館」と蔵本キャンパスの「蔵本分館」の二つの図書館で構成されており、それぞれのキャンパスに立地する学問分野に即したサービスを行っています。

4.1. 蔵書

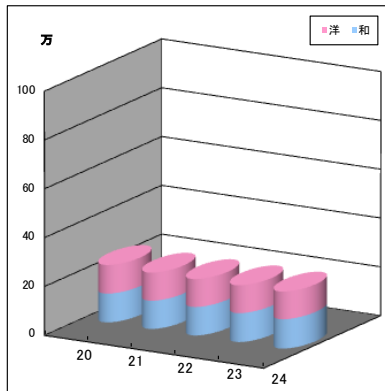
本館(図書と製本雑誌冊数)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成20年度	421,016	160,314	581,330
平成21年度	426,127	160,194	586,321
平成22年度	428,773	160,352	589,125
平成23年度	429,964	159,923	589,887
平成24年度	427,476	159,817	587,293

蔵本分館(図書と製本雑誌冊数)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成20年度	117,985	117,056	235,041
平成21年度	115,394	115,052	230,446
平成22年度	116,865	113,976	230,841
平成23年度	118,353	113,887	232,240
平成24年度	120,061	113,332	233,393

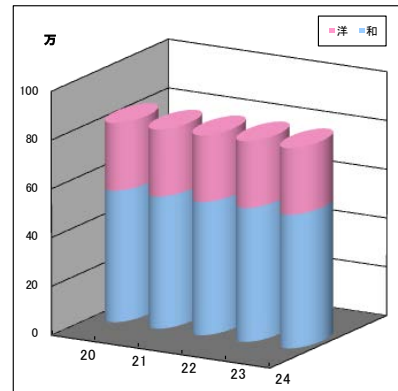
合計(図書と製本雑誌冊数)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成20年度	539,001	277,370	816,371
平成21年度	541,521	275,246	816,767
平成22年度	545,638	274,328	819,966
平成23年度	548,317	273,810	822,127
平成24年度	547,537	273,149	820,686



(平成24年度受入数 6,300冊)



(平成24年度受入数 2,458冊)

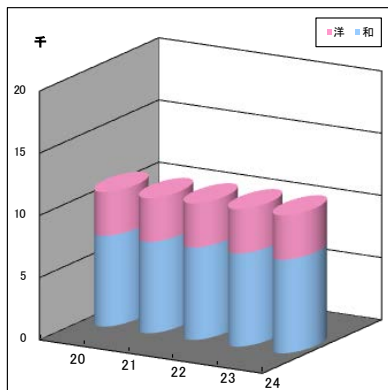


(平成24年度受入数 8,758冊)

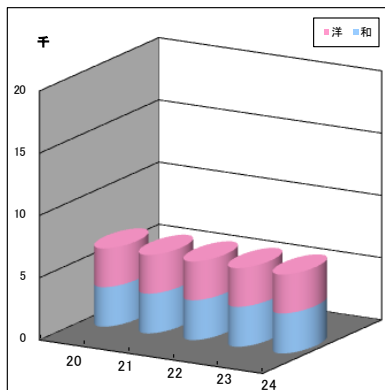
本館(雑誌種類数)			
年度	和	洋	計
平成20年度	7,297	3,529	10,826
平成21年度	7,335	3,536	10,871
平成22年度	7,425	3,551	10,976
平成23年度	7,481	3,560	11,041
平成24年度	7,514	3,564	11,078

蔵本分館(雑誌種類数)			
年度	和	洋	計
平成20年度	3,178	3,103	6,281
平成21年度	3,190	3,107	6,297
平成22年度	3,194	3,112	6,306
平成23年度	3,201	3,113	6,314
平成24年度	3,213	3,117	6,330

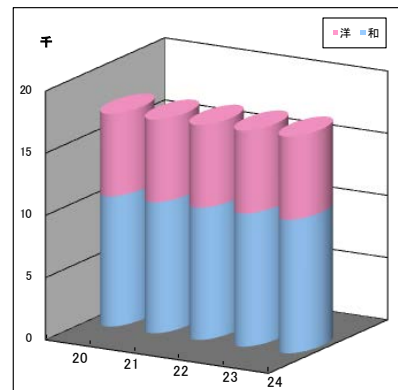
合計(雑誌種類数)			
年度	和	洋	計
平成20年度	10,475	6,632	17,107
平成21年度	10,525	6,643	17,168
平成22年度	10,619	6,663	17,282
平成23年度	10,682	6,673	17,355
平成24年度	10,727	6,681	17,408



(平成24年度増加数 37種)
(平成24年度受入数 2,429種)



(平成24年度増加数 16種)
(平成24年度受入数 893種)



(平成24年度増加数 53種)
(平成24年度受入数 3,322種)

4.2. 施設・設備の概要

◎面積

区 分	本 館	蔵 本 分 館	合 計
サービススペース			(㎡)
閲覧スペース	1, 8 8 1	1, 0 4 1	2, 9 2 2
視聴覚スペース	2 6 1	3 1 2	5 7 3
そ の 他	6 9 4	5 7 2	1, 2 6 6
管理スペース			
書 庫	1, 1 6 3	6 2 3	1, 7 8 6
事務スペース	4 2 6	2 3 5	6 6 1
そ の 他	6 8 7	3 8 4	1, 0 7 1
合 計	5, 1 1 2	3, 1 6 7	8, 2 7 9

◎座席数

区 分	本 館	蔵 本 分 館	合 計
サービススペース座席数	6 3 3	4 5 4	1, 0 8 7

4.3. 本館

総合科学部，工学部の学生教職員及び共通教育課程の学生を主な対象としてサービスしています。

【新着雑誌コーナー】
 学術雑誌の最新号が閲覧できます。



【カフェテリア】
 コミュニケーションエリアの象徴です。自販機を2台設置しています。



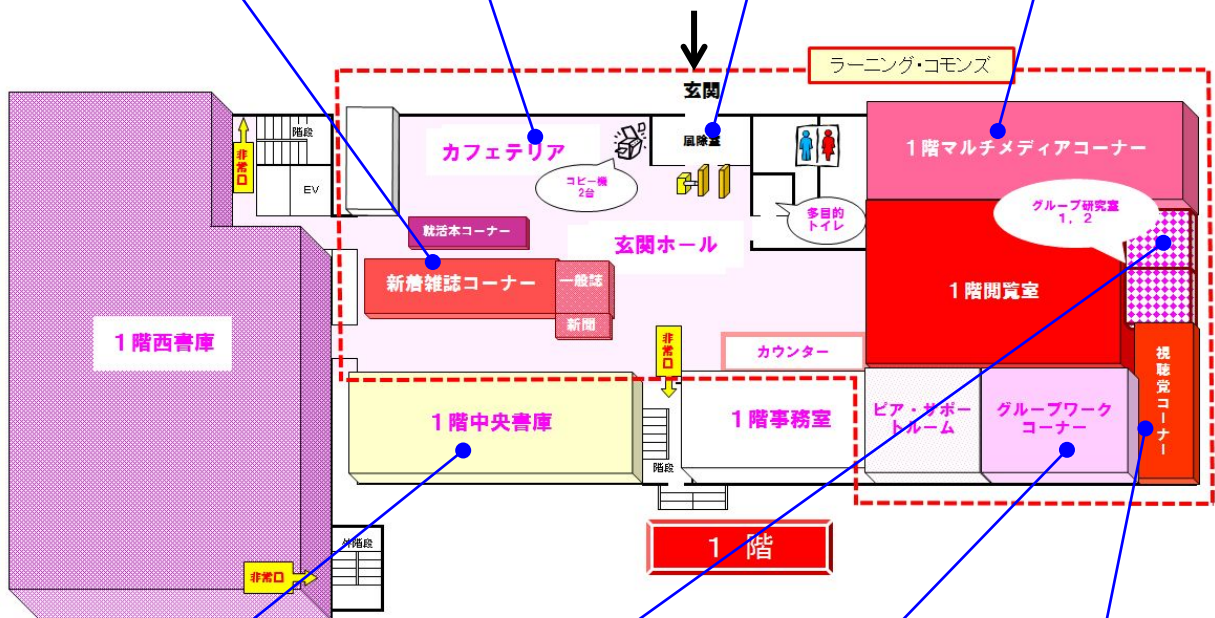
【自動入館システム】
 利用証(学生証)のバーコードを読み取り，開閉します。



【マルチメディアコーナー】
 24台のPCが設置されています。会話しながら利用できます。スクリーンも備えています。



1階北側に玄関があります。左右にスロープを配し，身障者用の駐車スペースも完備しています。



【1階中央書庫】
 洋雑誌のバックナンバーを配置しています。普通の書架の2倍の収容能力があります。



【グループ研究室】
 1階に2室用意しています。申し込みが必要です。



【グループワークコーナー】
 レイアウト自在なテーブルを配置しており，学生同士のグループ学習や講義に使うことができます。占有する場合は申し込みが必要です。



【視聴覚コーナー】
 4つのブースとグループで視聴できる大型ディスプレイの2通りで楽しめます。視聴覚資料は周りに配置されています。

【研究個室】
 教員、大学院生が利用できます。空いていたら、学部学生も使用可能です。申し込みが必要です。PC設置。



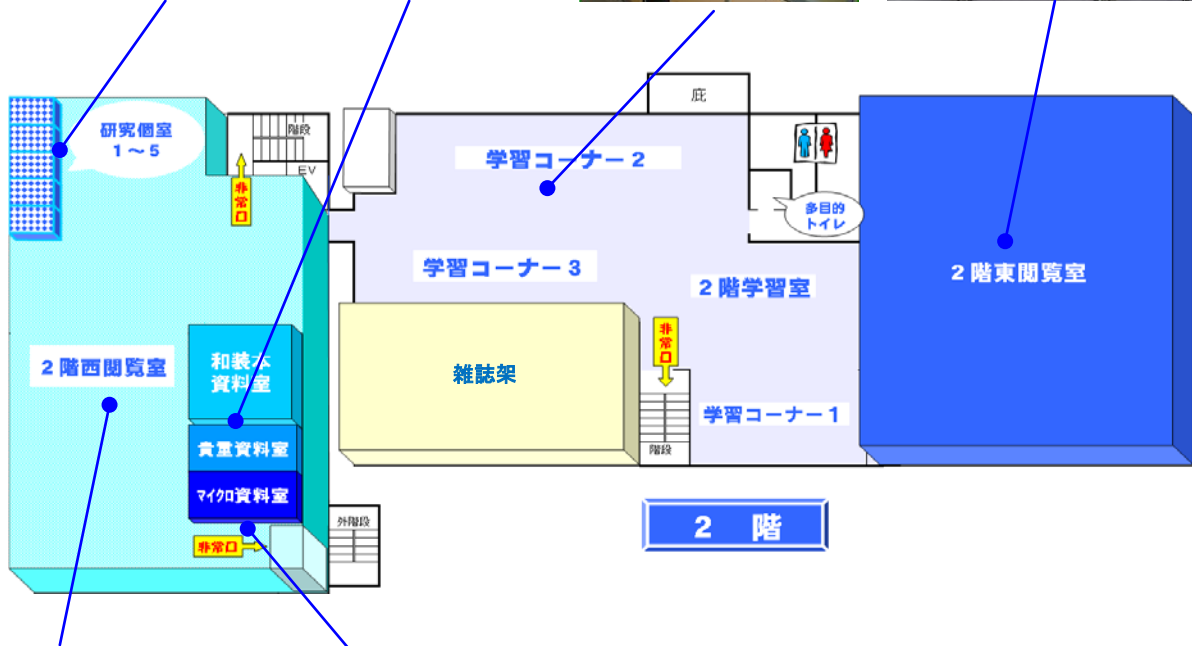
【和装本資料室・貴重資料室】
 和装本と貴重資料が所蔵されている部屋です。



【学習コーナー2】
 個人ブース感覚で利用できます。人気のエリアです。



【2階東閲覧室】
 自然系図書を配置しています。



【2階西閲覧室】
 社会系図書を配置しています。



【マイクロ資料室】
 マイクロフィルム等を配置し、閲覧のためのリーダーがあります。



【資料展示室】
 資料等の展示会を開催します。



【3階マルチメディアコーナー】
 26台のPCを配置し、スクリーンも備えています。



【3階東閲覧室】
 人文系図書を配置しています。



4.4. 蔵本分館

医学、歯学、薬学及び生命科学分野の学生教職員向け資料を中心にサービスを提供しています。

【雑誌書庫】

雑誌のバックナンバーがタイトルのアルファベット（和雑誌はローマ字読み）順に並んでいます。



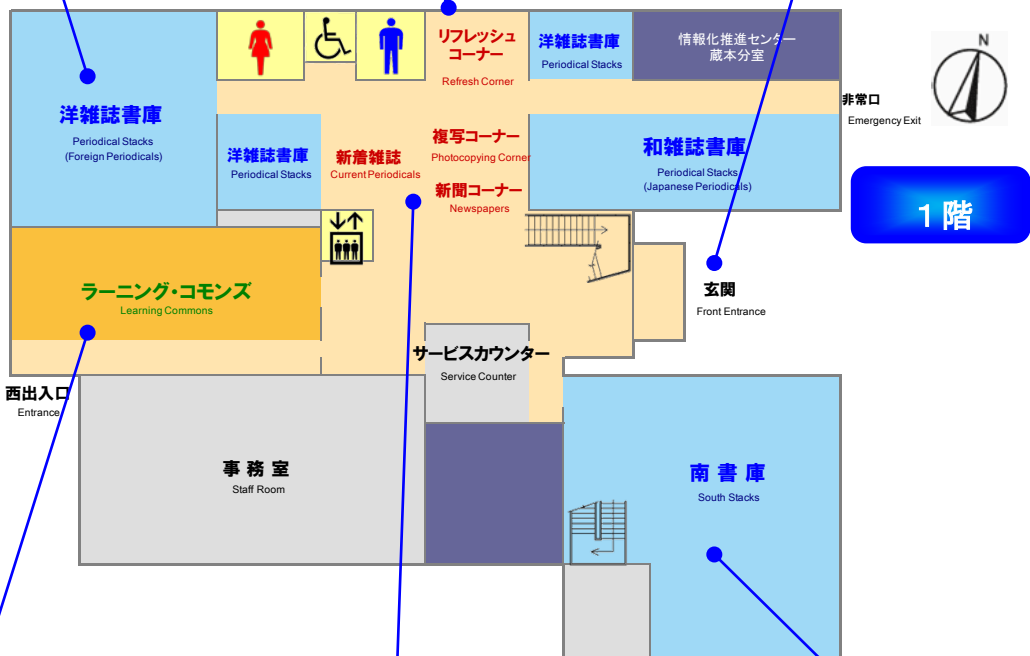
【リフレッシュコーナー】

自動販売機で飲み物を販売しています。飲食やおしゃべりしながらリフレッシュできます。



【玄関】

雨除けの庇とスロープがあります。玄関南側の壁にブックポストがあります。



【ラーニング・commons】

グループで話しながら学習できます。PCを15台設置しています。教育研究活動のポスターを展示できます。



【新聞コーナー】

新聞を6誌購読しています。複写コーナーや新着雑誌架が近くにあり、毎日新しい情報が更新されます。



【南書庫】

利用の少ない資料や、他大学紀要、古い学術雑誌などを配架しており自由に閲覧できます。

【グループ学習室】

教職員，学生が利用できるグループ学習室が4室あります。申込みが必要です。



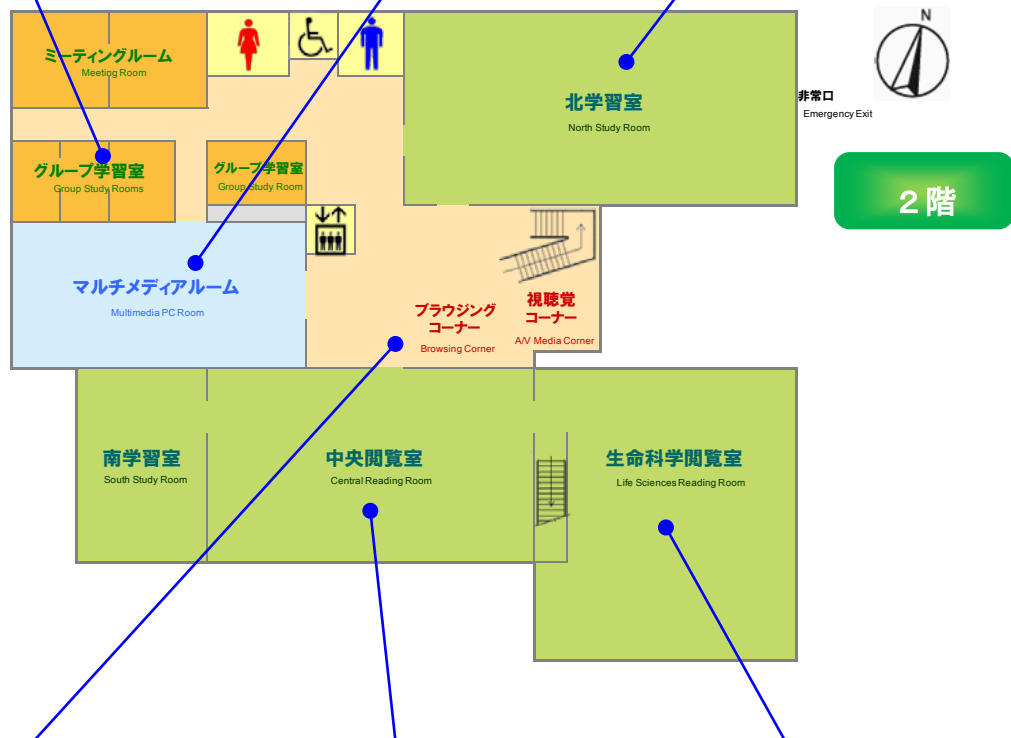
【マルチメディアルーム】

パソコンが22台利用できます。スクリーンを備えています。



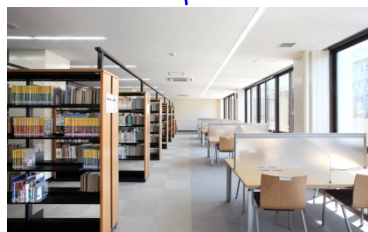
【北学習室】

集中して学習できる座席（個人ブース）と資料を広げて使える机があり，静かに勉強できる部屋です。



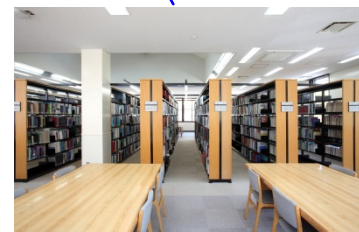
【ブラウジングコーナー】

週刊誌や軽い読み物をゆったりとした椅子に座って利用できます。



【中央閲覧室】

社会福祉や語学，小説など生命科学分野以外の図書を配置しています。毎月本館から本を取り寄せている文芸コーナーがあります。



【生命科学閲覧室】

生命科学系の学習用図書や参考図書があります。がんに関する図書の「がんコーナー」があります。

4.5. 学習環境とラーニング・コモنزの展開

ラーニング・コモنزとは、学生の学習に必要なもの・サービスが集約されている学習環境のことです。大学教育において、アクティブ・ラーニングや主体的な学習の重要性が高まっている現状を背景に、全国的に整備され始めています。徳島大学附属図書館では、平成21年の本館リニューアル、平成24年の蔵本分館リニューアル、さらに平成24年1月の本館のレイアウト変更とラーニング・コモنزの充実を図ってきました。併せて教員との連携による活動を行うなど、ソフト面の充実も目指しています。

◎本館の学習環境など（施設・設備については前述記事(→4.3)をご参照ください)

本館では、1階をコミュニケーションゾーン、2階をサイレントゾーンと明確に区分し、利用者のニーズにあわせた施設利用を可能にしています。

1階は、玄関ホール脇にカフェテリアを配し、東側にはマルチメディアコーナー・グループ研究室・視聴覚コーナー・グループワークコーナーを設け、ICT機器（パソコン・プリンタ・スクリーン・プロジェクター、大型タッチパネルディスプレイ装置（以下「BIGPAD」という。）等）の利用やグループでの学習・憩いの場を実現しました。また、キャリア教育支援のために、就職支援室との協力で、1階玄関ホールに就活本コーナーを新設しました。さらに学習支援機能の充実のため、1階事務室横にピア・サポートルームを設け、「Study Support Space (SSS)」（「本館のラーニング・コモنز」で詳述）を開室しています。

2階は、自然系図書を配置した東閲覧室、個人ブースをイメージした学習机、社会科学系図書を配置した西閲覧室、そして研究個室5室を設け、静かな環境を提供しています。また、本学の貴重資料（伊能図・蜂須賀家家臣成立書并系図等）を最適な環境で保存する貴重資料室・和装本資料室を完備しています。

3階は、人文系図書を配置した東閲覧室、マルチメディアコーナー、落ち着いて学習できる研究個室を3室、雑誌などのボリュームのある資料を保管する積層書庫(2層)、多目的ホール、資料展示室を設けています。マルチメディアコーナーには1階同様、スクリーン・プロジェクターを設置して講習会などにも利用できるように配慮しました。多目的ホールでは、講演会その他の催し、会議など多様なニーズに応えられるよう最新の視聴覚機器も備えています。さらに資料展示室は本学の貴重資料を自館内で展示できるスペースで、多目的ホールの講演会とリンクした展示も実施しています。

◎本館のラーニング・コモنز

平成24年1月に本館1階のレイアウトを変更し、「ラーニング・コモنز」として運用を開始しました。新たに設けた「グループワークコーナー」は学生の自由なグループ学習から講義まで、教育支援の場として活用されており、また、学内の教育改善に関連する学生ワーキンググループの活動の場としても利用されています。

平成25年4月からは、学生ワーキンググループと共同で「Study Support Space (SSS)」の運営を開始しました。SSSでは教員、院生が常駐し、学生の学習相談に応じています。SSSの運営に学生が携わることで学生目線のニーズをつかむことができるため、充実した学習支援を提供できるようになっています。

また、平成22年度に立ち上げた「ライブラリー・ワークショップ」も引き続き読書推進を中心とした活動を続けており、学生・教員・職員の協働で、イベントや図書の展示、新聞（Love Library Letter:LLL）発行などを行っています。



ラーニング・commons(グループワークコーナー)



ライブラリー・ワークショップによる図書の展示

◎蔵本分館の学習環境の整備と展開（施設・設備については前述記事(→4.4)をご参照ください)

改修工事により、自習のための個人ブースやラーニング・commons、グループ学習室など創造的な学習の場を新設しました。遅くまで利用できるグループ学習室は、学生のニーズにマッチして、非常に利用が多くパソコンやBIGPADを使い、課題解決学習等に利用しています。

1階ラーニング・commonsは、アクティブな学習の場として利活用されるだけでなく、BIGPADやデジタルサイネージを使った学生、教職員の作品発表の場としても利用されています。図書館職員による生命科学分野のテーマ展示を継続して開催し、テーマに関連する資料やアプリの紹介を行っています。2階には、個人ブースや資料を多数広げて利用できる閲覧席などを充実させ、静かに集中できる学習環境を整えています。

ネットワーク環境の整備を進め、パソコンの利用だけでなく、各種タブレットの普及に伴う無線LANの利用も順調に伸びています。BIGPADとタブレットとの接続機器の整備により、少人数での講習会やグループ学習の利便性が向上しています。今後、ネットワークの冗長性を高め、大容量の映像教材の利用や遠隔地との協働学習など各種サービスを展開していきたいと思えます。

資料については、生命科学閲覧室の学習用図書及び専門図書を最優先に充実し、中央閲覧室にある社会福祉、語学をはじめ幅広い分野の知識習得のための資料や視聴覚コーナーのDVDなど主体的な学習に役立つ資料を整備していきます。南書庫については、経年劣化した電動書架の電装部品を更新するとともに臨床分野の改版資料の最適化を行います。

◎蔵本分館のラーニング・commons

隣接する大塚講堂の改修工事が完了したことにより、平成25年4月から西側出入口の利用が可能となり、ラーニング・commonsへのアクセスも良くなりました。今年度は、学生委員による新入生のための履修相談会場としてラーニング・commonsが利用されました。このような学生による企画の支援やラーニング・commonsを利用した新着図書展示を計画しています。



ラーニング・commons入口



生命科学分野のテーマ展示

4.6. 電子図書館サービス

徳島大学附属図書館では、データベースや電子ジャーナルなどネットワークで提供される学術情報基盤の整備を積極的に推進しています。また、貴重資料のデジタル化や機関リポジトリの整備にも取り組んでいます。

◎データベース

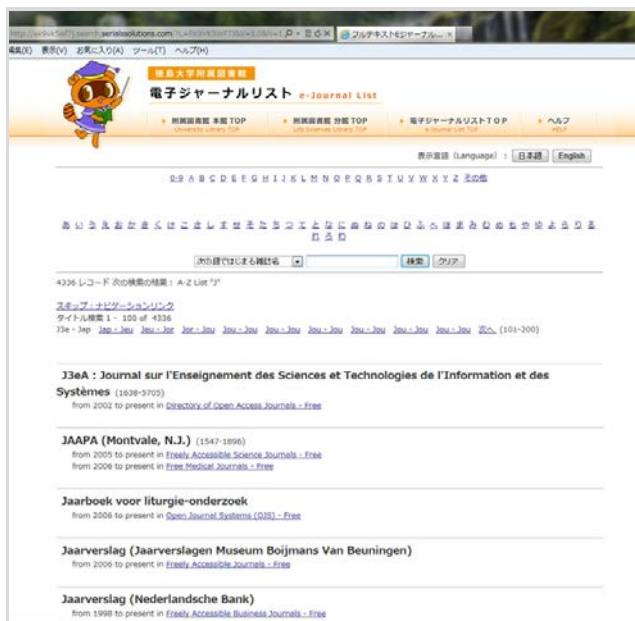
学内のネットワークから利用できるデータベースを16種用意し、学術情報の検索に供しています。

CiNii Articles (国内学術論文)	UpToDate (医学系)
JapanKnowledge+N (辞書・辞典ほか)	医中誌 Web (国内医学系)
聞蔵 II ビジュアル (朝日新聞記事の検索・閲覧)	メディカルオンライン (国内医学系)
日経 BP 記事検索サービス (日経 BP 社の雑誌検索・閲覧)	MathSciNet (数学)
Web of Science : Science Citation Index Expanded (学術論文の検索・引用情報)	官報情報検索サービス (官報の検索)
SciFinder (化学系)	ERIC (教育)
化学書資料館 (国内化学系の電子ブック)	INIS Online Database (原子力)
PubMed (医学系)	JCR Science Edition (学術誌評価)

◎電子ジャーナル

電子ジャーナルとは、インターネット経由で本文の読める雑誌のことで、印刷媒体の雑誌よりも早く読む事ができます。

徳島大学では主要な出版社系電子ジャーナルパッケージとして、SciVerse ScienceDirect, Wiley-Blackwell, SpringerLink, ACS (American Chemical Society), Nature Journals, Science 等を導入しています。これらの電子ジャーナルは、電子ジャーナル管理ツール 360 Link から利用することができます。無料電子ジャーナルも含め約 46,300 タイトルの情報を管理しています。出版社に関係なく誌名順リスト等からの検索や、電子ジャーナルページへのアクセスが可能です。

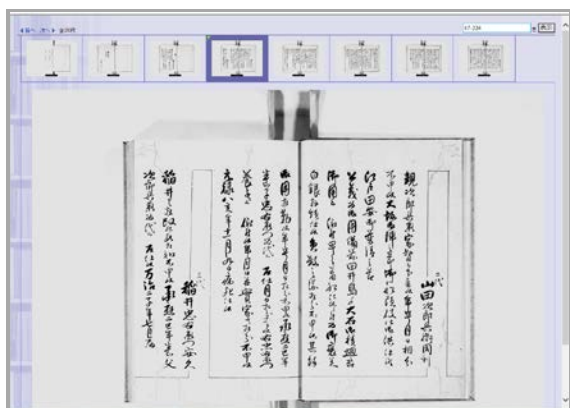


電子ジャーナル誌名順リスト

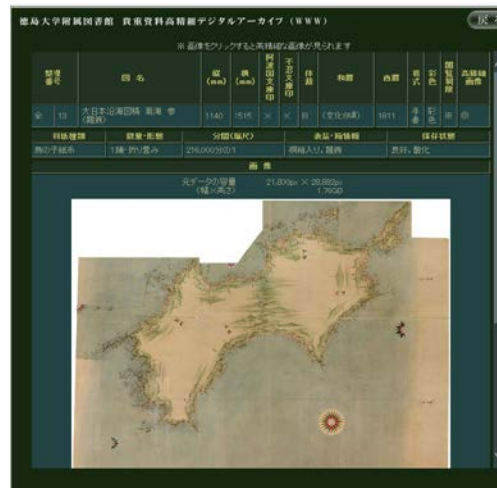
◎貴重資料のデジタル化(後述→5.1 を参照)

徳島大学で所蔵している貴重資料は研究資料として広く学内外の利用に供されるべきものですが、同時に後世のため良好な状態で保存される必要があります。この二つの課題を両立させる手段の一つとして、徳島大学附属図書館では貴重資料をデジタル化し公開しています。

現在、平成 17 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)により「蜂須賀家臣成立書并系図」を画像データベース化し、平成 19(2007)年に公開を開始した「蜂須賀家臣団家譜史料データベース」や、近世古地図・絵図コレクションを電子化した「貴重資料高精細デジタルアーカイブ」を公開しています。



蜂須賀家臣団家譜史料データベース



貴重資料高精細デジタルアーカイブ

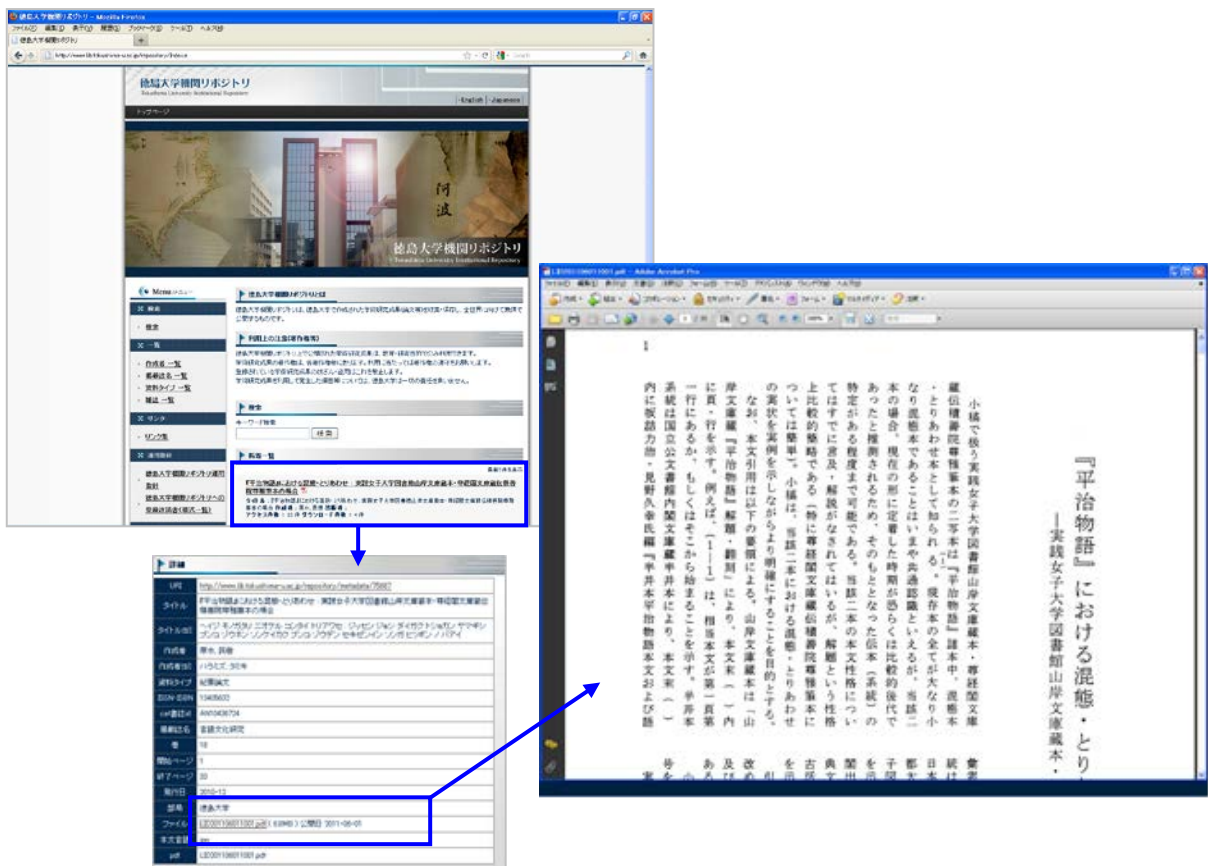
◎徳島大学機関リポジトリ

徳島大学機関リポジトリでは、大学で作成された学術研究成果(論文等)を収集・保存し、全世界に向けて無償で公開しています。

徳島大学では平成22年1月に試験稼働、同年10月に正式運用を開始しました。

現在は、大学で作成された紀要論文・学位論文・著作権をクリアした学術出版社論文などの学術研究成果を順次登録・公開しています。

○ 2013/03/31 現在の登録件数：11,444件(紀要論文, 学位論文, 学術雑誌論文等)



5. コレクション

5.1. 貴重資料

徳島大学附属図書館には、江戸時代に阿波(徳島県)と淡路(兵庫県淡路島)の両国を支配していた徳島藩及び蜂須賀家ゆかりの史料が収蔵されています。

これらは近世における地域史や藩政史の研究資料として学外からの利用も多いため、マイクロフィルムや複製資料の作成に加え、前述(→4.6)したような電子化にも取り組んでいます。

◎蜂須賀家家臣成立書并系図

徳島藩士各家が代々の家督相続者について、召出・相続・隠居・死亡の期日、禄高、役職及び系図・家紋などを書き上げ藩庁に提出したものです。天保 5(1834)年に作成され、その後文久元(1861)年に書き継いだものが大部分ですが、一部寛政年間や明治期に書かれたものもあります。

提出者は家老などの重臣から無足人と呼ばれる下級家臣までのすべてに渡りますが、重臣の家譜にあたるものは現在も蜂須賀家が所蔵し、最下級の家臣についての部分は国文学研究資料館に収蔵されています。徳島大学で所蔵しているのは最上級と最下級を除く、いわば家臣団の中核にあたる 1,802 家の家譜であり、近世における国持大名家臣の様相について多様な情報を有する貴重な資料です。

収蔵時は各家譜ばらばらの状態でしたが、収蔵後に裏打ちや和装を施すなど長期保存のための処置を行い、249 冊に分け整理、保存しています。



蜂須賀家家臣成立書并系図

◎近世古地図・絵図コレクション

徳島大学附属図書館には、200点を越える絵図・古地図類が貴重資料として所蔵されており、いずれも学術・文化的価値が高い史料です。そのおもな内訳は「徳島」55点、「全国」20点、「諸国」49点、「江戸」44点、「京都」16点、「世界」17点となっています。これらの古地図の中には、蜂須賀家旧蔵の大集書であった「阿波国文庫」の印影が押されているものもあります。

このうち「徳島」の中には、阿波国・淡路国の国絵図(5鋪)をはじめ、徳島や洲本の城下絵図、近世後期の実測分間絵図(郡図・村図)、川絵図や村絵図などが含まれています。

国絵図とは、慶長10(1606)年、正保元(1644)年、元禄10(1697)年及び天保6(1835)年に幕府が各大名に命じて調進させたもので、寛永年間(1624～1644年)にも幕府巡見使を通じて献上されたといわれています。これら幕府に提出されたもののうち、幕府が直接作成した天保国絵図を除いては多くが失われていますが、諸藩が所有した控図や下図が今日に伝えられています。

また、「全国」の古地図の中には、伊能勘解由(忠敬)が作成した「沿海地図」(東日本3鋪;1804年)や「大日本沿海図稿」(西日本4鋪;年不詳)、慶応3(1867)年に幕府開成所から発行された「官板実測日本地図」(東日本4鋪)、諸国別の国絵図略図などが含まれています。



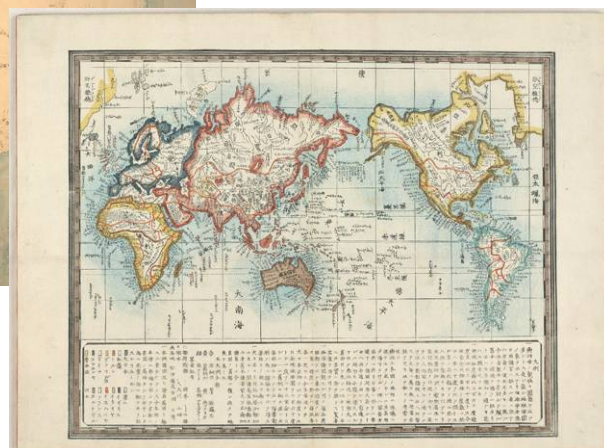
阿波国大絵図



御城下絵図



沿海地図 上



万国地理細図

5.2. 個人文庫

◎泉山文庫



本館所蔵。2,843 点。
郷土史家・島田麻寿吉氏(1874～1947, 泉山は同氏の号)旧蔵の郷土資料及び和漢書。

◎布川文庫



蔵本分館所蔵。299 点。
徳島県阿波市土成町布川清二郎氏旧蔵の江戸時代天和期から寛政期に及ぶ医学書。

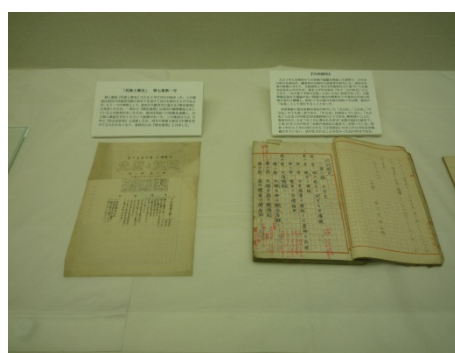
5.3. その他の資料

◎山西家文書



本館所蔵。80 点。
江戸時代の中期以降撫養（鳴門市）で廻船問屋を営んでいた山西家の古文書。

◎喜田貞吉関係資料



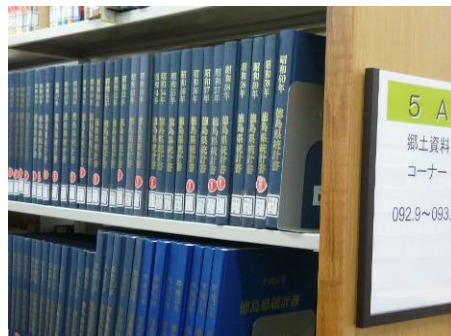
本館所蔵。830 点。
徳島県那賀郡檜淵村（現在の小松島市）出身の歴史学者である喜田貞吉（1871～1939）の自筆原稿及びノート、書簡等。

5.4. 郷土資料

◎徳島県内関係資料

本館所蔵，約 3,630 冊。

徳島県及び徳島県を含む四国についての印刷体資料のコレクション。



5.5. 大型コレクション

◎府県統計書集成(明治・大正・昭和戦前)



昭和 59(1984)年度本館収蔵。

マイクロフィルム 1,140 巻。

各都道府県の土地・人口・農業・産業教育等に関する統計の集大成

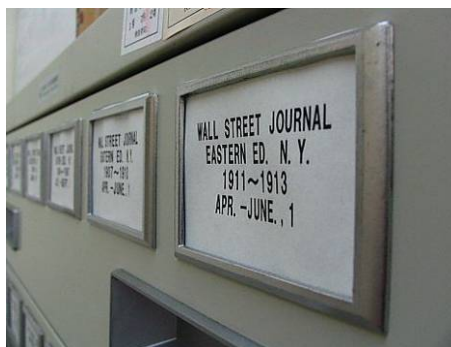
◎Industrial Relations and Labor Management. 1942-1978 (労働関係等学位論文集)



昭和 61(1986)年度本館収蔵。776 冊。

米国の労働関係の学位論文リプリント集

◎The Wall Street Journal & Index : Silver Format Eastern Ed. [1889-1987] Index [1955-1985]



昭和 63(1988)年度本館収蔵。

マイクロフィルム 539 巻，冊子 31 点 33 冊，索引。

米国の著名な経済紙のバックナンバーコレクション。世界経済を研究するための重要文献。

◎空中写真 四国東部地域 (建設省国土地理院)



平成 3(1991)年度本館収蔵。約 5,700 枚。

撮影年度昭和 49~53 年。

撮影縮尺 8 千分の 1~1 万 5 千分の 1。

地形・建造物の立体視が可能であり地形・地質等の基礎資料で地理学・経済学等の広範な利用が可能。

◎静嘉堂文庫所蔵古辞書集成



平成 5(1993)年度本館収蔵。マイクロフィルム 178 巻 (原本 361 点 2,137 冊)。

平安から明治初期の古辞書，考証・研究書の集大成。

◎Landolt-Börnstein Numerical data and functional relationships in science & technology

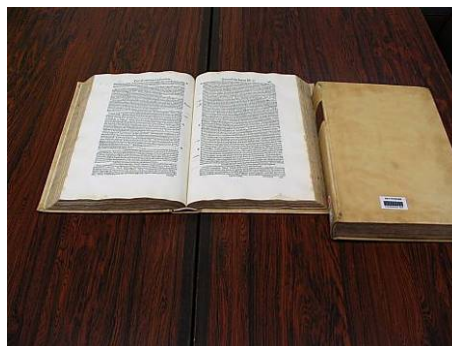
(ランドルト=ベルンシュタイン数値表)



平成 7(1995)年度本館収蔵。59 冊。

物理・化学・天文・地球物理・工学にわたる広範囲な物理定数表。

◎Galen:Omnia quae extant opera.Llvos in7.1550-51 (ガレノス全集)



平成 11(1999)年度蔵本分館収蔵。全 7 巻。1550~1551 年にヴェネチアで刊行。

古代ギリシアの医学者ガレノスの業績集大成。

6. 地域社会及び学外機関との連携・協力

6.1. 一般市民への図書館公開

徳島大学附属図書館では昭和 63(1988)年度から貸出を含めた一般の方への利用サービスを開始しました。平成 10(1998)年度から利用申請手続を簡素化し、申込み当日から利用できるようになっていきます。なお、貸出日数及び冊数は下表のとおりです。

	冊数	期間
本館	5冊	14日間
蔵本分館	3冊	

その他利用について詳しくはホームページの案内をご覧になるかカウンターでお訊ねください。また、最近2年間の学外の方の利用状況は下表のとおりです。

	年度	本館	分館	計
登録者数	24	1,207人	735人	1,942人
	23	1,222人	598人	1,820人
入館者数	24	24,067人	7,469人	31,536人
	23	23,076人	4,718人	27,794人
貸出人数	24	1,945人	954人	2,899人
	23	2,327人	1,102人	3,429人
貸出冊数	24	5,168冊	2,085冊	7,253冊
	23	6,367冊	2,606冊	8,973冊

6.2. 県内図書館との連携

◎徳島県内図書館横断検索(徳島県立図書館)

<http://alisliboudan.tokushima-ec.ed.jp/cgi-bin/ilisod/odplus.sh>

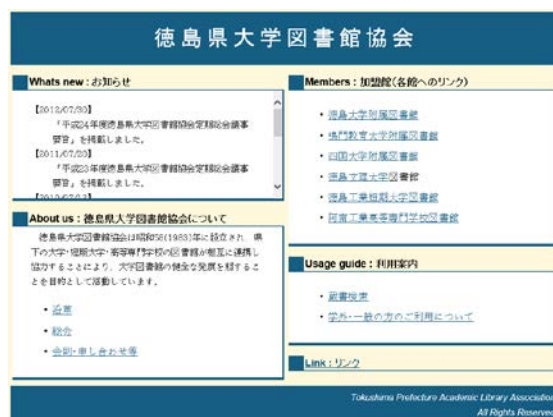
(徳島大学附属図書館のホームページからもリンクしています)

徳島県立図書館が運用する統合情報検索サービスに参画しています。このサービスにより、徳島県立図書館、徳島県内の主要市・町立図書館、徳島大学附属図書館の他、国立国会図書館、NII(国立情報学研究所)のCiNii Booksに参加する全国の大学図書館・公共図書館の蔵書を横断検索することができます。

なお、徳島県立図書館には徳島大学附属図書館の利用案内を送付し、利用者に配布しています。

◎徳島県大学図書館協会

徳島県大学図書館協会は、県内の大学等図書館の連携を緊密化することにより図書館の発展を期すことを目的として1983(昭和58)年に設立され、徳島大学、鳴門教育大学、徳島文理大学、四国大学、徳島工業短期大学、及び阿南工業高等専門学校の各図書館が加盟し活動を行っています。



徳島県大学図書館協会ホームページ

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/TPALA/>

6.3. 大学図書館の協会・協議会

徳島大学附属図書館は、前述した徳島県大学図書館協会のほか、中四国地方や全国の各種大学図書館関係団体に加盟し連携活動を行っています。

◎国立大学図書館協会

全国の国立大学、放送大学及び大学共同利用機関の計 91 図書館を会員とする組織で、図書館機能の向上を支援するとともに学術情報流通基盤の発展に貢献し、大学の使命達成に寄与することを目的としています。大学図書館の機能向上に関し必要な調査研究、学術情報資源の共同整備と相互利用の促進、大学図書館職員の資質向上のための事業、及び学術情報流通に関する国内外の団体との連携・協力等の事業を行っています。平成 25(2013)年度は、東海北陸地区(名古屋大学)で総会が開催されました。



国立大学図書館協会ホームページ

<http://www.janul.jp/>



国立大学図書館協会中国四国地区ホームページ

<http://simone.lib.okayama-u.ac.jp/>

◎国立大学図書館協会中国四国地区協会

中国四国地方 9 県の国立 10 大学の図書館を会員とする組織で、国立大学図書館協会の地域組織として他地区協会等と連携するほか、独自の事業グループ等を形成し、より地域に密着した課題や活動に取り組んでいます。

◎中国四国地区大学図書館協議会

中国四国地方 9 県の 62 大学の図書館を会員とする組織で、国立・公立・私立の枠を超えて大学図書館の共通問題を検討討議し、その健全な発展を期することを目的としています。「中国四国地区大学図書館協議会総会」を毎年 4 月に各県の輪番で開催しており、平成 25(2013)年度は高知大学を当番館として開催されました。



中国四国地区大学図書館協議会ホームページ

<http://simone2.lib.okayama-u.ac.jp/>

◎日本医学図書館協会

医・歯・保健・生命科学領域の学部等を持つ大学や病院等医療機関の図書館及び個人を会員とする組織で、図書館事業の振興等により保健・医療その他関連領域の進歩発展に寄与することを目的としています。



日本医学図書館協会ホームページ

<http://plaza.umin.ac.jp/~jmla/>

7. 所在地・アクセス

7.1. 所在地と交通アクセス



◎本館

〒770-8507 徳島市南常三島町2丁目1番地（徳島大学常三島キャンパス内）

【徳島空港から】

- 徳島駅行リムジンバスに乗り、「徳島大学前」下車、徒歩約5分。

【JR徳島駅から】

- 徳島市営バス「島田石橋」行、「商業高校」行、「中央循環線又は川内循環線(左回り)」等に乗り、「助任橋」又は「徳島大学前」下車、徒歩約5分。

◎蔵本分館

〒770-8508 徳島市蔵本町3丁目18番地の15（徳島大学蔵本キャンパス内）

【徳島空港から】

- 徳島駅行リムジンバスに乗り、「徳島駅」下車、バスまたはJR乗換え。

【JR徳島駅から】

- 徳島市営バス「上鮎喰」行、「地藏院」行、「名東」行、「中央循環線(右回り)」等に乗り、「蔵本中央病院前大学病院前」又は「医学部前」下車、徒歩約5分。
- JR徳島線(よしの川ブルーライン)阿波池田方面行(下り)に乗り、「蔵本駅」下車、徒歩約10分。

※ 徳島駅から常三島・蔵本各キャンパスへのバス路線について詳しくは、徳島駅前バス乗り場の案内所でお訊きください。また、下記のサイトでも調べることができます。

- とくしまバス Navi <http://www.tokushima-tdm.jp/bus/pc/>
- 徳島市交通局 <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/bus/>
- 徳島バス <http://www.tokubus.co.jp/>

7.2. キャンパスマップ

◎常三島キャンパス



◎蔵本キャンパス



附属図書館蔵本分館



徳島大学附属図書館概要 平成 25 年度

平成 25 年 7 月発行

発行 徳島大学附属図書館

〒770-8507 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

Tel. (088)656-7584

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

編集 徳島大学附属図書館広報検討ワーキンググループ